



平成28年熊本地震により被災された皆さま方に衷心よりお見舞い申し上げます。

浄土真宗本願寺派たすけあい運動募金 「平成28年熊本地震災害義援金」にご協力をお願いします。

東日本大震災から6年

雅友会、5回目の東北ボランティア

2013年、3回忌法要のときから始めました東北でのボランティア活動も今回で5回目となりました。雅友会会員以外で参加下さった東隅組の藤本さん親子、また元本山式務部会役者の山本さんに原稿を依頼しました。

東北大震災

7回忌に寄せて

東隅組願成寺 藤本慈明

東北大震災七回忌法要参加とボランティア活動をさせて頂いたのはコーディネイト役の佐々中さん、島見さん、山内さん、大八木さん、山内さんの縁で姫路の山本さん、私と私の娘、計7名でした。今回の2泊3日の行程を記します。

1日目、岩沼市玉浦西災害公営住宅中集会所でお茶会、雅楽演奏会、2日目は中尊寺参拝、南三陸から石巻被災地見学(防災庁舎跡、大川小学校

など)、3日目は被災地見学、専能寺参拝、七回忌追悼法要出勤、参拝。

毎日、夜の反省会をして経済貢献も忘れずに行ってきた。した。

次に内容について報告します。

仙台到着後すぐに中集会所で高齢者中心の50名ほどの方々と交流をもちました。

まずは雅楽について。姫路の山本さんは元式務部会役者ですが、鹿児島島の雅楽奏者のレベルの高さを褒めてくださいました。

音の確かさ、現代音楽の調べ(幻想曲など)に合わせて吹

く楽曲に特に感心されていました。なじみのない曲の合間に懐かしい曲やメロディアスな曲が入ると、ぐっと感動が深まりました。

今回は、スマホに曲を落とし、電池で動き無線で出力する手のひらサイズのスピーカーを持参しました。小さな小さなユニットで簡単に楽曲を演奏できることが新鮮でした。つまり、一本の龍笛でも、他のパートをスマホに入れておけば曲を吹けます。スマホとスピーカーさえあれば、少数でも多くの人を感動させる





カエルの体操をする藤本慈明さん

ことができるユニットを組めるので、画期的です。しかも、スピーカーが3〜4千円で手に入ります。楽器の紹介、演奏の合間に、私の娘が空手の型披露、板割り。さあ、いよいよ私のカエルの体操を、と用意していたところ、お菓子（鹿児島から持参）を食べて団らんが始まりました。出番なしかいな、と思ったところ、最後にカエルの体操、やりきりました。皆さんが喜んでくださったかどうかはわかりませんが、太った中年ガエルが汗みどろで体操をしたことは

覚えていてほしいです。

2日目の三陸沖から石巻までの被災状況を目の当たりにすると、物の復興は進んでも、心の中はあの日の悲しみ、恐ろしさが消えていくわけではないと感じました。

3日目の七回忌法要は、山内さんと山本さんが主管で佐々中さんと3人が楽人として参加し、御門主と900人の参拝者の御前で立派にお勤めされました。

3日間の運転手兼案内役の佐々中さんは、東北大震災の縁で奈良から鹿児島に来られた方ですが、震災の最初から今までを詳細に経験され、根気よく丁寧に対応して下さいる希有な人材です。彼のおかげで、我々鹿児島島の僧侶は貴重な経験ができます。できれば、次世代の若者に東北の現実を見て聞いて頂きたいと思えます。お気軽に佐々中さんにご相談を。

南三陸、石巻の震災跡、美しい三陸沖の海と空、冷たい風、復興する町並み、参加したおのおのがたくさん思いをもつて鹿児島に帰ってききました。

最後になりましたが、貴重な体験をさせてもらいましたこと、心から感謝致します。有り難うございました。

合掌

東北に行つて

東隅組願成寺 藤本唯

ぐにやりと横たわっている渡り廊下：息をのむ光景は今も忘れられません。

震災から丸6年、やっと東北に行くことができありがたい気持ちでいっぱいです。初日の訪問では、空手を通してふれあえたことで、私自身も大切なものを再確認できました。しんしんと降る雪の中、ムード抜群の天尊寺は歩いてよかつたなあと思えます(笑)。



空手の演舞を披露する藤本唯さん

また、初めて津波の傷跡を目の当たりにし、その脅威と恐怖を感じました。しかし私が見たのはたくさんの方の力できれいに残されたもの。私には何ができたのだろうか、と考えることしかできませんでした。

最終日は法要に参加することができず残念でしたが、かさ上げされた道路を実際に車で走り、海が見えないという問題点など、勉強になりました。連日美味しいものをいただく

き、大好きなイクラも思う存分堪能しました(笑)。食べ損

ねたものもあるのでリベンジしたいです！

今の私は手を合わせることも
しかできませんが、将来は医

療という形でつながれるように
頑張ります。

「3・11 私たちは、忘れない」

兵庫教区高砂組西法寺住職 山本英信

私の息子は1995年3月11日生まれ、阪神淡路大震災が1995年1月17日、息子が生まれる直前でした。22年前です。

私は京都にいましたが、タンスが倒れるかと思いき、妻とお腹の子供を心配しました。タンスは倒れずに大丈夫だったが、本願寺の阿弥陀堂の菱灯籠が落ちかけていました。お供物も落ちて崩れていました。御正忌報恩講の御納壇の日でした。

お晨朝のお勤めが終わってから、阪神・淡路が震源で神戸が大変なことになっていくと知りました。火事・生き埋めで多くの命が亡くなりました。今も1月17日は阪神淡路大震災追悼法要が続いています。悲しみは忘れられません。

私たちは悲惨な状況を知っているが、まだ生まれていない私の息子は知りません。京都生まれ、京都市育ちなのであまり神戸も知らない状況です。

東日本大震災も6年が経ちます。私は三回忌から法要に出勤させていただいてます。年数が経つにつれて少しずつ町並みが復旧されています。ですがいろんな考え方があります。被害のあった小学校を残す地域、取り壊してしまった小学校もあります。新たな方向へ進むことも大事、その被害状況を残すのも大事。次へ繋げるためにも考えなければなりません。

2月9日は、『鹿児島雅友会』の「雅楽演奏会」に参加させていただきました。お茶会で雅楽の音色を披露いたしました。皆さんに雅楽の楽器・音色に興味を持っていただき喜んでくださり嬉しかったです。

2月11日は東北教区東日本大震災七回忌法要で全国から出勤の『特別法務員』の方々とお勤め雅楽演奏をいたしました。約900名の参拝者の方々、多くの亡くなった方々のことを考え、何ともいえない緊張感の中での雅楽演奏を体験いたしました。私は本願寺の僧侶です。私の出来ることが何なのか、お勤め、雅楽演奏、みなさまと一緒に一念仏を唱えることが大事

なのかと。
東日本大震災の犠牲になられた多くの命、助かったありがたい命、それぞれの命の尊さ、ありがたさを感じ、お念仏を申しながら歩んでまいりましょう。

「1・17 3・11

私たちは、忘れない」



小学校での雅楽演奏会

東隅組願成寺 藤 清道

去る1月30日、曾於市立財部南小学校において、雅友会会員 東隅組 輪光寺の山内義宣さん（箏篋ひちりき）、同じく正心寺の島見教信さん（鳳笙ほうしよう）私、藤（龍笛りゆうてき）の3名による雅楽演奏会『雅楽のしらべ』が催されました。

演奏会当日、はじめに、直の児童によるあいさつの後、5・6年生による（といっても5年生2人、6年生1人の複式学級ですが。）『越天楽今様（えてんらくいまよう）』の演奏と美しい歌声で私たちを迎えてくれました。（※『越天楽今様』とは、雅楽における名曲『越天楽』に歌詞をつけたもの。『黒田節』は『越天楽今様』を元に行っている。）演奏会にあって、演奏でもてなされたことは初めてであり、またその上手さに、私たちも大変感動いたしました。続いて

私たちの演奏が始まり、ま

ず『越天楽』を演奏したのち、それぞれの持ち管楽器を紹介し、『陪臚

（ばいろ）』そして『越天楽』を現在風にアレンジ（東儀秀樹さん編）した『越天楽幻想曲』をピアノの伴奏に合わせ演奏しました。

児童のほとんどが雅楽を生で聞くことが初めてのようので、箏篋の大きな音や鳳笙の優雅な音色、また龍笛の素晴らしい音色に、1年生から6年生までの22名が、興味深くまた真剣に聞いてくれていたことが、大変うれしく思いました。感想の中には、雅楽に興味を持ってくれた児童や、いつか自分も演奏してみたいという児童もいてくれて、私た



ち雅友会としても、大変有意義な1日となりました。

合掌

鑑真記念館にて

南薩組廣泉寺 大八木宗司

去る2月23日、南さつま市坊津町秋目にあります鑑真記念館のリニューアルオープン記念式典にて、雅楽演奏をさせていただきますました。ご存知の通り坊津町秋目の地は、その昔、唐の僧・鑑真和尚が10年以上の歳月をかけて、五度の失敗を乗り越え日本本土に初上陸した地であります。その和上が日本にもたらした功績は、仏教の「戒律」のみならず、彫刻や薬草などの技術や知識をも伝えてくださったと言われております。今に伝わる史実だけでも、和上の強い信念と、温かい人柄が感じられます。

遠く今から1300年ほど前の和上を偲びながら、当時よりすでに演奏されていた古典の

曲を中心に、演奏をさせていただきますました。

小さめの館内に向かい合わせの満員の聴衆、さらに和

上創建の奈良・唐招提寺の長老がステージ真横にお座りになられるという緊張感の中、演奏しながら目のやり場に大変困りましたが、ふとガラス張りの館内より外を見渡すと、眼下には鑑真和尚がお着きになられた秋目浦の海岸、その向こうは大陸へと続く東シナ海という贅沢な景色を見ながら、ゆったりとした思いで演奏をさせていただきますました。



★雅友会へのお問い合わせ

鹿児島教区教務所内雅友会事務局

099-222-0051

（担当 片岡）